



令和元年9月発行 発行所: 砺波カイニョ倶楽部 代表幹事 高畑邦男

「植樹したカイニョ見学会」

8月25日曜日8名のメンバーで14年前に植樹した野村宅(砺波市五郎丸)と、11年前に植樹した中村宅(南砺市高宮)を見学しました。私はどちらのお宅とも同った覚えがあり、あれから14年の月日がたったのかと、また、あの時はあの方もこの方もおられたなあとしみじみ思い出しながら育った木々を見てきました。中には1、2本無くなった木もありましたが、他はすくすく育っていました。

野村宅では成長の早い木と遅い木を選んで16本植樹。アテ(ヒバ)、スギ、ヤマボウシ、など他
中村宅では60本植樹。広い土地に医王山をバックにいくつかのエリアがあり、手をかけないカイニョということでスダジイ、ハクモクレン、ケヤキ、ヤマボウシ、ヒノキ、ハゼなどを。後に、お家の方がヤナギ、シャクナゲ、ムク、ク、カシワなどを植えられ(鳥も種を運んできたりして)増えていました。

お陰で子供達も遊べ、涼しい風も吹き、成長した木々たちも医王山を後ろにのびのびとしていた感じで、もう14年後に見れないと思いますが、木々はずっと生きていますと信じ、タモの木を追加植樹し将来の成長を想像していました。

すくすくと成長したカイニョを見て、とてもよい一日を味わうことができました。感謝 参加者:中田



11年前、家族で楽しく植樹会



カイニョは無かった。今は力強く育ち、落ち着いた



大きく育った木々



こんなにも大きくなった



14年前、子供も参加して数人で植樹



こんなにも大きくなった



栗も実を付けた



タモを植樹 15年先は大木か

カイニョ(屋敷林)の 掃除・植樹希望の方へ

募集します



水稲栽培でカイニョのある散居村は世界に類がありません。
 先人から頂いた綺麗な景観。そして、カイニョから多くの恩恵を
 頂くと共に、昆虫や沢山の生き物がいます。
 特に次の世代の子供達には最高の情操教育空間です。
 無くなってから気づいても遅いのです。そのような事は分かって
 いますが……維持管理が大変なのも事実です。
 ですから、少しでもお役に立てればと思い、掃除や手入れに困ら
 れている方・植樹希望の方を募集します。(無料で参ります)
まずは、ご連絡ください!



砺波カイニョ倶楽部 代表幹事 高畑 邦男

連絡先 砺波市表町14-10(天野方)

電話・FAX(共):0763-33-6588

携帯電話 :090-9444-8655

* 日時・詳細などは 後日協議をさせていただきます。

まずは、ご連絡ください



新聞や他マスコミでも募集していますが、皆様方の情報が重要です。

9月10日現在、2軒(掃除軒、植樹軒)の申し込みがあります。

「出雲の築地松のある散居村」

出雲の散居村は干拓地です。土地は平坦で水の確保は難しい。砂地の土地に粘土混じりの土を入
 れる。干拓先端付近に家を建てる。結果、散居村に。家を建てるのに、砂混じりのその土を盛り地盤を作
 る。(盛り土の事を築地)その際、盛り土が崩れないように、植樹をした。風よけの意味もあったか?

当初はいろんな樹木を植えたようだが、松が残った(築地松)。昔からのうっそうとしたカイニョは
 風にも強く手入れはいらない。しかし、築地松は枝を50%近く落とす必要がある。砂地のため風圧
 が大きいと倒木する。長いハシゴを架ける、職人は現在数人で後継者がいない。

干拓・自然農地、工場地、商業地、住宅地……人の生活は恒に知恵を出し目標にむかい歩いてきた。

日本人の目的の衣食住は平成に達成し、新しい目標が必要だ。その為に、大きく変わる必要がある。
 その時期はすでに来ているのではないか。

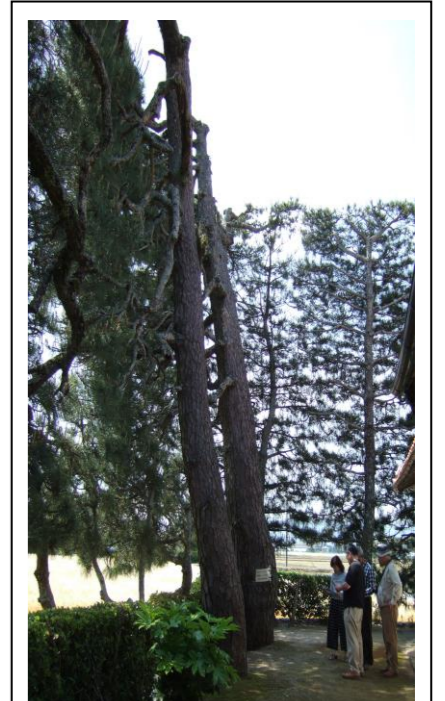
事務局:天野



日の出の散居村



築地松(島根県)



枝葉は片面 大木です

ハシゴを架けての剪定作業